

## 第5回 緑の基本計画改定委員会 議事概要

日時：令和3年2月15日（月）10:00～

場所：TeamsによるWeb会議

### 議事次第

1. 開会
2. 環境推進部長挨拶
3. 議 事
(1) 第4回委員会の意見概要と対応について
(2) 熊本市緑の基本計画改訂 素案に関するパブリックコメントの結果について
(3) 環境審議会での意見と対応について
(4) その他 質疑応答
4. 閉会



### 配付資料

- 会議次第
- 委員名簿
- 資料「熊本市緑の基本計画」の改定について

資料1：第4回委員会の意見概要と対応

資料2：熊本市緑の基本計画改定（案）

資料3：熊本市緑の基本計画改定（素案）に関するパブリックコメント

資料4：環境審議会での意見と対応

### 委員一覧

	氏 名	所 属（役職）	備 考
1	内野 明德	熊本大学名誉教授、熊本市環境審議会会長、 熊本市生物多様性推進会議委員長	
2	田中 尚人	熊本大学熊本創生推進機構准教授	欠席
3	柳井 重人	千葉大学大学院園芸学研究科准教授	
4	蓑茂 壽太郎	東京農業大学名誉教授、熊本県立大学客員教授、 熊本市都市政策研究所所長	
5	伊東 麗子	日本樹木医会熊本県支部	
6	岩佐 弘子	熊本市緑の少年団連盟会長、熊本市地球温暖化防止活動 推進員	
7	大川 洋次郎	熊本市公園愛護会連合会会長	
8	澤 克彦	一般社団法人九州環境地域づくり代表理事九州環境 パートナーシップオフィス業務責任者	
9	河上 強	熊本市学校環境緑化コンクール審査委員	
10	福西 江玲奈	市民公募委員	

発言者	内容
<b>1. 開会</b>	
事務局 (吉田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ今より、第5回熊本市緑の基本計画改定委員会を開催する。本日はお忙しい中ご出席いただき大変ありがとうございます。</li> <li>・前回は、4回目にして初めてお集まりいただき、会議形式で開催できましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、再びリモートでの開催となった。今回が改定委員会の締めくくりとなりますので、皆さまよろしくお願ひ申し上げます。</li> <li>・開催に当たり、環境局環境推進部長本田よりご挨拶を申し上げます。</li> </ul>
<b>2. 環境推進部長挨拶</b>	
環境局環境推進部 (本田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本日はお忙しい中、第5回熊本市緑の基本計画改定委員会に参加いただき大変ありがたい。</li> <li>・これまでの会議において皆様からのご意見を踏まえ改定案を作成した。本市が森の都にふさわしい緑豊かな都市環境となるよう、令和4年3月に開催される全国都市緑化熊本フェアを契機に緑のまちづくりに拍車をかけ、持続可能な森の都の実現に向けて進んでいきたい。</li> </ul>
事務局 (吉田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料にしたがって議事を進めていく。 (配布資料について確認)</li> <li>・これから先は内野委員長に司会の進行をお願いする。</li> </ul>
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでは議事次第に従い、議事を進めさせていただく。</li> </ul>
<b>3. 議事(1) 第4回委員会の意見概要と対応について</b>	
<p>≫事務局(東園)より、資料1「第4回委員会の意見概要と対応」を説明。</p>	
河上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の先生の意見を反映して、わかりやすくなった。SDGs、生物多様性、グリーンインフラが注目されている。熊本市HPに熊本市生物多様性戦略が掲載され、わかりやすく整理してあった。大川委員からの水の大切さについては、HPに地下水に関する説明があった。紙媒体の資料である地下水の説明にQRコードをつけHPとリンクできるようにするなどして、さらに学びを深めるようにしてはどうか。このようにICTを活用しつつ、紙媒体と結ぶことによって市民とパートナーで進めていくことにも繋がっていく。</li> </ul>
事務局(東園)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・QRコードのアイデアについて反映できる箇所は反映したい。</li> </ul>
<b>3. 議事(2) 熊本市緑の基本計画改訂(素案)に関するパブリックコメントの結果について</b>	
<p>≫事務局(大石)より、資料3「熊本市緑の基本計画改定(素案)に関するパブリックコメント」を説明。</p>	
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5番の回答は、緑の保全や緑化されることにより、鳥が多くなることは良い面もあるが、有害鳥獣について回答が不足しているためいくつか取り組んでいることについて記載してはどうか。また、パブリックコメントの意見は2人のみでは少ない。パブリックコメントのあり方が問われていると感じている。</li> </ul>
<b>3. 議事(2) 熊本市緑の基本計画改訂(素案)に関するパブリックコメントの結果について</b>	
<p>≫事務局(東園)より、資料2「熊本市緑の基本計画改定(案)」を説明。</p>	
福西委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P76の「⑥市民団体相互の情報共有」について、プラットフォームの設置は実際の運用が始まった際に、偏った考え方とならないよう皆が納得できるようなシステムの体制があると良いと感じている。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P67 の「①人にやさしい公園づくり」や P68 の「④住民参画による公園づくり」について、対象は公園となっているが、公園以外の森林などでも人に対するやさしさやバリアフリー等にも対応すれば外に出やすくなるため、記載について検討してほしい。</li> <li>・ 計画書を実際に読む人が少ないのではないかと心配である。進行管理以外に勉強会などの何らかの方法で計画を広げていく必要があるのではないかと。</li> </ul>
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これからの仕組みづくり、公園以外のワークショップを開く取組、勉強会など順次進めていく。</li> </ul>
柳井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P76 の「⑥市民団体相互の情報共有」について、プラットフォームは情報共有だけでなく、ディスカッションし市民からの提案を受けたりするものや行政も関わるようにする必要がある。進行管理について、取組を進めていくうえで、重点的なプロジェクトではプラットフォームを設置するなどを記載すれば、パートナーシップに繋がるだろう。</li> <li>・ P36 の「■緑の質の向上のイメージ図」では、持続可能な森の都の実現が幹の下部に記載されている。緑の質の向上のイメージのタイトルも不要で、持続可能な森の都を実現するための図であるため、タイトルを工夫してほしい。</li> </ul>
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P76 のプラットフォームは、行政も入ることがわかるような記載としたい。まずはプラットフォームの設置を目指して取り組むため項目を記載している。</li> <li>・ P36 の緑の質の向上のイメージのタイトルは、削除し、分かりやすい表現にしたい。</li> </ul>
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P36 の「①基本理念」の緑の多面的な機能や効用について、効用が分からないといった点があるため、景観・季節感・緑陰・防災・安全性・精神的充足と記載することにより、緑の質の恩恵が分かりやすいようにしてはどうか。</li> </ul>
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概要版に P36 の概念図を記載するとよいと思うが、内野委員長が発言する緑の効用、グリーンインフラ、レインガーデン、公園のリノベーションなどのキーワードを葉っぱの部分に追加し、分かりやすいような図となるよう工夫してほしい。</li> </ul>
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P31 の「■緑の保全による生物の生息環境の保全」について、有害鳥獣の記載が無いため記載してほしい。P46 の「3 地球環境や生物多様性に配慮した自然環境の保全」に有害鳥獣の駆除について項目や説明を追加してほしい。</li> <li>・ P56 等に大規模店舗が進出する際に、熊本市の条例にもあるとおり緑化に関する協議を義務付けているため、記載してほしい。</li> </ul>
事務局（田尻）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P31 や P46 の有害鳥獣は、農水局と協議の上、内野委員長に報告する。→農業政策課に確認し、記載について了承を得られず追加の記載はなし。</li> <li>・ P56 の大規模店舗は、記載を検討したい。→商業金融課に確認し、記載について了承済。</li> </ul>
澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P39 などの SDGs に関するアイコンは、P82 の「■施策の体系」にも記載する形で検討してほしい。</li> <li>・ P9 の「2. 社会情勢の変化」や P76 「④緑地保全・緑化推進法人（みどり法人）制度の活用検討」にみどり法人は記載しているが、唐突感があるため前段の繋ぎとなっている第 3 章の P34 の「課題 4 市民の参画と協働による緑のまちづくり」に記載してほしい。</li> </ul>
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P82 にも SDGs のアイコンを表示し繋がりを表したい。</li> <li>・ P34 にみどり法人の記載を検討したい。</li> </ul>
福西委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P68 の「②指定管理者制度等の活用」について、業者選定の際に価格が安いこの</li> </ul>

	企業にするなどとならないよう運用の場面で気をつけてほしい。
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P47 の「①Eco-DRR（生態系を活用した防災・減災）の視点の推進」について、人工的なグリーンインフラのみではないということを明確に記載した方が良い。グリーンインフラのつながりで既存の生垣緑化の助成だけでなく、新たにレインガーデンの助成にするなどとすると熊本らしさが生まれてくる。</li> <li>・ P65 の「2 都市公園の魅力の向上による身近な緑の活用」について、都市公園のリノベーション協定制度などがあるため、積極的な活用について記載してほしい。</li> <li>・ P115 の「第 7 章 進行管理」は、鎌倉市が良い例である。毎年、関連課がチェックできることを書いてはどうか。場合によって、進行管理は素案という形で別出ししても良い。</li> </ul>
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P47 の Eco-DRR は人工的なものだけではないことも追加できるように検討したい。</li> <li>・ P65 の都市公園のリノベーション協定制度は記載について検討したい。→公園課に確認し、記載について了承済。</li> <li>・ P115 の進行管理は鎌倉市を参考にブラッシュアップしていきたい。</li> </ul>
福西委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P73 「⑤ICT、AI などを活用した市民参加型の緑化意識向上の取組」とあるが緑視率を撮影するのみではなく、進行管理やワークショップの際に活用することを記載した方が良い。子供たちが町にでて活用できると面白いと思う。</li> </ul>
岩佐委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P73 の「④緑の相談所の利用促進」の相談所については別ゲートから無料となっているため記載してはどうか。また、動植物園でのイベントを絡めて利用促進を図ってはどうか。</li> <li>・ 学校の緑の減少が課題であるが、施設課、校長会などの意向もあるため難しいが、学校の緑を増やす具体的な方法があるといい。</li> </ul>
河上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT、AI の活用について、小中学校の全生徒がタブレットを持っているので、生徒による継続的な計測が可能になる。先生の負担が増えないように市民協働の取組として、学校緑化コンクールで緑被率を審査基準に入れるなどの活用も考えられる。</li> </ul>
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P73 の ICT や AI については、進行管理など様々な場面で取組を記載したい。</li> <li>・ 学校の緑化において、樹木については維持管理を行うことで精いっぱいという現場の声がある。花壇での緑化の推進や AI、ICT の活用については実現可能であるので考えていきたい。</li> </ul>
河上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校樹が増えると日陰が増えて花壇や学校園などの管理が難しくなるという相反する課題がある。</li> <li>・ 緑の基本計画で作成予定の報告書は何部でしょうか。</li> </ul>
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 概要版 500 部、本編 300 部の予定です。</li> </ul>
河上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この部数では学校全てに報告書が配布できないと思いますので、ダウンロードをしてもらって、報告書を見てもらうようにしたい。それによって、基本計画自体の PR や緑に関する意識向上に繋がると思う。</li> <li>・ 用語集には、グリーンインフラ、SDGs、レインガーデンも入れてほしい。</li> </ul>
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑が余っている学校、緑が足りない学校があるので、学校間で融通するという話を以前聞いたことがあるが、今はそうしているのでしょうか。</li> </ul>
河上委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ そういう話は聞いていませんし、難しいと思う。学校主事さんの共同作業で、サザンカや椿などを融通しているとは聞いている。</li> </ul>
蓑茂委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本計画についての絵本を作ってくれる人がいると良い。熊本はそういう風土がある</li> </ul>

	ところだと思う。子供たちがみんなに関心を持てる環境になると良い。
大川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P74 に小中学校の花壇が記載されている。小学生からの投稿で町をきれいにするために自分は何かができるのかというものがあつた。花壇・プランターに学校名を入れて並べてはどうか。</li> <li>・ P65 に公園の記載があるが防災公園などで、市の関係各課の連携のもと、樹木を植栽するところがないか。</li> </ul>
岩佐委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P24 の「■記念樹配布実績」の記念樹の配布は、年々数が少なくなっているが、例えば賃貸マンション・アパートは植えるところが少ないですが、記念樹の配布をしているのでしょうか。</li> </ul>
事務局（東園）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記念樹は平成 29 年から年 2 回配布を年 1 回配布に減らしているため、それが配布本数が減っている理由の一つである。賃貸住宅でもプランター等で記念樹を植えることは可能なため賃貸住宅でも配布できるということをもっと発信していきたい。</li> </ul>
伊東委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑を活かすのも大切であるが、メンテナンスのコストがかかるので、木本より草本でなんとかしたい傾向が心配である。ヒートアイランド等の対応のためにも、木本を増やして、行政における維持管理費用を確保してほしい。</li> </ul>
<b>3. 議事（3）環境審議会での意見と対応について</b>	
<p>≫事務局（大石）より、資料4「環境審議会での意見と対応」を説明。</p> <p>⇒意見無し。</p>	
<b>3. 議事（4）その他 質疑応答</b>	
<p>⇒意見無し。</p>	
<b>4. 閉会</b>	
内野委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ これで、予定していた議事がすべて終了した。長時間にわたるご審議ありがとうございました。これで議事を終わりたいと思う。事務局にお返す。</li> </ul>
事務局（吉田）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本日は大変お忙しい中、改定委員会へのご参加いただき、ありがとうございました。</li> <li>・ 本日賜りました貴重なご意見を参考に、「森の都」にふさわしい緑の基本計画となるよう、素案からさらに改善を図って参ります。</li> <li>・ スケジュールについては、案を修正後、内野委員長に相談し、最終とします。その後、市議会報告します。意見があれば、今週中にお送りください。</li> <li>・ 以上ですべての議事を終了いたしました。これを持ちまして「第 5 回 熊本市緑の基本計画改定委員会」を閉会いたします。</li> <li>・ 今回頂いたご意見を反映し、令和 3 年 3 月を以て熊本市緑の基本計画を改定いたします。また、本委員会も令和 3 年 3 月 31 日までとなることを合わせてご報告いたします。</li> </ul>